

課題探求のプロセスと 図書館の利用

三重大学 高等教育創造開発センター
長澤 多代

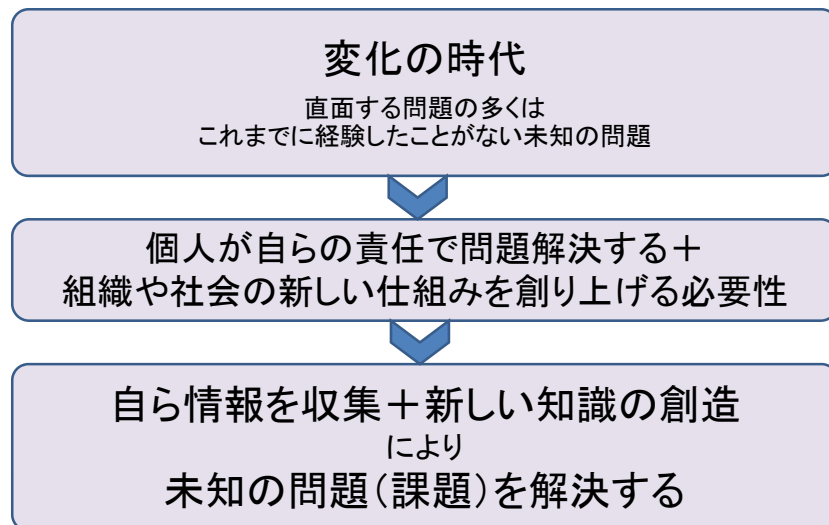
1

本日の内容

合同説明会	課題探求のプロセスの説明 ①テーマを設定する ②情報探索の道筋を設定する ③情報を探索する ④情報を整理・統合する ⑤情報を表現する ⑥成果とプロセスを評価する
グループ演習	ブレイン・ストーミングの方法 レポートの枠組みを作成する方法

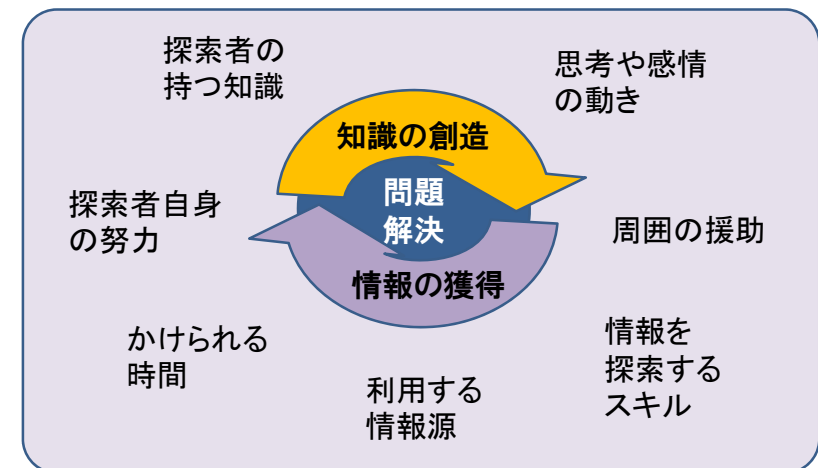
2

未知の問題への対応



3

課題探求の枠組み



4

課題探求のプロセス

- ①テーマを設定する
- ②情報探索の道筋を設定する
- ③情報を探索する
- ④情報を整理・統合する
- ⑤情報を表現する
- ⑥成果とプロセスを評価する



5

①テーマを設定する-1

学習目標

与えられた課題から、探求すべきテーマを絞り込む方法を理解する。

要件を考慮しながら、テーマを絞り込むことができる。

- 主な読み手(もしくは聴き手)を設定する。
- 表現の方法を決定する。

6

①テーマを設定する-2



支援のポイント

設定するにふさわしいテーマの要件を伝える。

- テーマに関するある程度の経験や既存の知識がある。
- 興味や関心をもつことができる。
- 入手可能な情報源がある。
- 課題に取り組む十分な時間がある。
- 課題に取り組む十分な費用がある。
- 探求に値する課題である。

7

図書の分類

日本十進分類法(NDC)

0	総記 (図書館学, ジャーナリズム)	5	技術・工学 (建築学, 機械工学)
1	哲学 (心理学, 倫理学, 宗教)	6	産業 (農林水産業, 商業, 通信)
2	歴史・地理	7	芸術 (美術, 音楽, スポーツ)
3	社会科学 (法律, 経済, 財政, 教育)	8	言語
4	自然科学 (数学, 理学, 医学, 薬学)	9	文学

8

基本的な情報源：百科事典

テーマに関する基本的な情報を得る。

<http://www.lib.mie-u.ac.jp>

The screenshot shows the Mie University Library website with a search bar and several database options. A red box highlights the '辞書・事典' (Encyclopedias) section, which includes:

- 閲覧**：朝日新聞の記事を検索
- 中日新聞記事検索サービス**：中日新聞・東京新聞の記事を検索
- 日経テレコン21**：日本経済新聞をはじめとする日経四紙の記事を検索
- Japan Knowledge**：百科事典をはじめ、20以上の人名辞典や新語辞典・英和辞典の項目を検索
- ネットで百科**：平凡社『世界大百科事典』をはじめとする百科事典の項目を検索

基本的な情報源：GeNii(ジーニイ)

日本国内の研究成果を調べる。

The screenshot shows the GeNii academic content portal. It features a search bar and several search filters:

- 論文を探す
- 本・雑誌を探す
- 研究課題・成果を探す
- 分野別専門情報を探す
- 教育・研究成果を探す

On the right side, there is a text box with the following information:

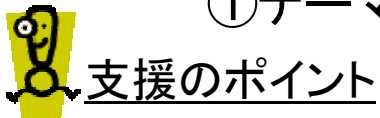
研究に必要な情報を総合的に利用できるポータルサイトを目指します。

- 国立情報学研究所の各種サービスを統合・拡充します。
- 国内外の有用な学術情報源と連携します。

Links: [→ GeNiiについて](#), [→ GeNiiバナーレット](#)

<http://ge.nii.ac.jp/>

①テーマを設定する-3



支援のポイント

テーマを絞り込む方法を提案する。

概念や言葉の階層関係	<pre> graph LR A[建築学] --- B[建築計画] A --- C[建築構造] A --- D[建築設備] A --- E[建築音響学] B --- B1[空間] B --- B2[階段] D --- D1[照明] D --- D2[煙突] </pre>
時間	時代(明治時代), 年代(1960年代), 時期(ケネディ政権の期間)
場所	国(中国, ドイツ), 地域(三重, 愛知), 組織(大学, 図書館)

②情報探索の道筋を設定する-1

学習目標

テーマの中心となる問い(仮)を設定できる。
問い(仮)に関する情報を効果的・効率的に
探索するための手順を設定できる。

- 問い(仮)を設定する。
- 取り組むテーマに関する情報を探索するための適切な情報源を設定する。
- 取り組むテーマに関するキーワード(検索語: 同義語を含む)を設定する。
- 探索の手順を設定する。

13

②情報探索の道筋を設定する-2



支援のポイント

- 多様な種類の情報源があることを説明する。
図書館やWeb: 図書, 雑誌, 新聞,
電子資料, 視聴覚資料
博物館・美術館・水族館などの文化施設
実験: 実験データ,
インタビュー: 人(経験や考えなど)
観察: 場所, 生き物(人間を含む), もの

14

③情報を探索する-1

学習目標

設定した道筋に沿って, 情報源を適切に選
択し, 効果的・効率的に情報を探索できる。

- 適切な二次資料(参考図書やデータベース)を用いて, 必要な情報源の所在を確認する。
- 見つけた情報源が問い(仮)の解決に適しているかどうかを評価し, 入手する。
- 類書を読み重ねる。
- 得た情報をもとに, 問い(仮)を調整・修正する。

図書館の3大資源

図書館員

情報の専門家, いつでも相談することができる

資料・情報(一次資料)

図書, 雑誌, 新聞, 統計資料, 法令資料,
視聴覚資料, 電子(インターネット)情報など

一次資料を探す道具(二次資料=参考図書)

図書館の蔵書目録(OPAC), 雑誌記事索引
百科事典, 辞書, 多様なデータベース

16

図書館で利用できる資料(一次資料)

紙を材料とする主な資料(図書資料)

図書, 新聞, 雑誌,
楽譜, 点字資料,
パンフレット,
リーフレット, 絵画,
版画, 地図, 紙芝居,
写真, ポスター

紙以外を材料とする主な資料(非図書資料)

マイクロフィルム,
CD, レコード,
録音テープ, DVD,
ビデオ, 映画フィルム,
スライド,
電子ジャーナル,
電子ブック,
ネットワーク上の情報資源

17

主な二次資料

三重大学に所蔵されている図書・雑誌を調べる。

附属図書館の蔵書目録(OPAC)

<http://opac.lib.mie-u.ac.jp/opc/>

全国の大学が所蔵する図書を調べる。

Webcat plus

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

どのような雑誌論文があるのかを調べる。

CiNii

<http://ci.nii.ac.jp/>

18

③情報を探索する-2



支援のポイント

二次資料から情報を得る場合:

- 一次資料と二次資料の違いを説明する。
- 適切な検索語を設定していることを確認する。
同義語, 統制語, 自由語による検索
AND検索, OR検索, NOT検索
- 探索している情報源が必要な情報を探索できる適切な情報源であることを確認する。

19

③情報を探索する-3



支援のポイント

- 方向性が定らず, 不安に陥いる学生もいるために, プロセスの中で最も困難な時期であることを理解した上で対応する。
- 多様な検索語や複数の二次資料を用いて検索(探索)をすることの重要性を伝える。
- いつでも図書館員にたずねることができることを伝える。(レファレンス・サービス)
- 情報源の信頼性を確認するように伝える。

20

④情報を整理・統合する-1

学習目標

探索によって得た結果から、必要な情報を選択し、統合できる。

- 問いを明確にする。
- 複数の情報源から得られた結果を比較し、情報の取捨選択をする。
- 必要となる情報を記録する。
- 選択した情報を組織化する: 排列, カテゴリー分け, 統合, 一般化, 解釈, 考察など。

21

④情報を整理・統合する-2



支援のポイント

- 各情報源から入手できる情報の特徴に違いがあることを説明する。
 - 得られる知識の幅 図書>雑誌>新聞
 - 知識の新しさ 図書<雑誌<新聞
- 複数の結果を比較することによって、得た情報の信頼性を確認することの重要性を伝える。
- Web情報の評価のポイントを伝える。
 - ・著者がその課題に関する専門家であるか。
 - ・作成日(もしくは更新日)が古いものではないか。
 - ・個人的な意見ではないか。
 - ・他の情報源でも同じことが言われているか。

22

④情報を整理・統合する-3



支援のポイント

- 図書に記載された情報の取捨選択の時に、目次や索引を活用することの有効性を説明する。
- 情報の記録をとるときに、使用した情報のデータ(著者名, 書名, 発行年など)も併せて記録しておく必要性を説明する。
- わからない用語があれば、辞書や事典などで調べることの必要性を説明する。

23

⑤情報を表現する-1

学習目標

整理・統合した成果を効果的に表現(伝達・発信)できる。

- 情報を統合して、解決した問いを発表する。
- 成果を表現する方法

話し言葉による

口頭発表, ディベートなど

書き言葉による

レポート, 論文など

音による

演奏など

画像・映像による

絵画, ポスター, 映画, 写真など

身体表現による

演劇, ダンスなど

24

⑤情報を表現する-2



支援のポイント

確認事項については、事前に教員と綿密に打ち合わせをすること

- レポートの添削を補助する場合の確認事項
 - ・全体の構成, 段落の構成が構造化されているか
 - ・適切な引用が行われ, その典拠となる情報の書誌事項が明記されているか
 - ・表紙が必要な情報とともに付与されているか
- 口頭発表の評価を補助する場合の確認事項
 - ・導入・本論・結論が構造化されているか
 - ・聴き手とのコミュニケーションが図られているか
 - ・決められた時間内に発表しているか

25

⑤情報を表現する-3



支援のポイント

- 使用した情報や資料のリストを作成することの必要性を説明する。
- 多様な立場からの意見を考慮しながら, 自分の意見を述べることの必要性を説明する。
- 剽窃(ひょうせつ:他人の文章や説の盗用)をしてはいけないことを伝える。
- 著作権を侵害しないように注意し, 必要があれば著作権(著作権法 第32条 引用)の説明をする。
- 引用をした際は, 出所を明記する(同 第48条 出所の明示)。

26

⑥成果とプロセスを評価する

学習目標

課題探求のプロセスとその成果を評価できる。

- 課題を探求してきたプロセスを評価する。
- 結果として得られた成果(物)を評価する。
 - 利用できる情報源を十分に使いこなしたか
 - 得られた情報は信頼できるか
 - 欠けていた知識を補えたか
- 評価はプロセスの最終段階だけではなく, プロセスの各段階でも行なう。

27

課題探求のプロセスを支援する 図書館サービス

予約	貸出中の資料を予約することができる。
コピー(複写)サービス	附属図書館が所蔵する資料の一部をコピーすることができる。
相互貸借(ILL)	附属図書館が所蔵しない資料やそのコピー(一部)を, 他の機関から取り寄せることができる(有料)。
購入リクエスト	附属図書館が所蔵していない資料の購入を依頼することができる。
レファレンス・サービス	必要とする情報や情報探索の方法について, 何でも質問をすることができる。
情報リテラシー講習会	情報探索の方法などに関する講習会を受けることができる。個別にも対応してもらえる。

附属図書館のページ <http://www.lib.mie-u.ac.jp/>

演習

課題: テーマを絞り、展開させて下さい

テーマ: 「三重」もしくは「大学」

「なぜ、三重の〇〇は△△なのか？」

「三重大学の〇〇はどうなっているのか？」

- ①グループ内で自己紹介をする:
氏名, 所属, 研究テーマ
- ②取り組むテーマを決め, これを絞り込む。
- ③絞り込んだテーマをもとに, アイディアを広げる
(ブレインストーミング)。

29

主な参考図書



三輪眞木子『情報検索のスキル: 未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003, 214p. (中公新書, 1714)

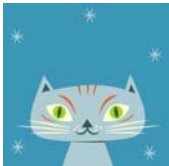
〔附属図書館 007.5/Mi 68〕

日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック: 大学図書館版』日本図書館協会, 2003, 209p. [附属図書館 017.7/To 72]

Oshima, Alice; Ann Hogue. "Chapter 2 What Is a Paragraph? An Overview", *Writing Academic English*. 3rd ed. Longman, 1999, p.16-39.

〔附属図書館(書庫) 836.5/O 77〕

30



連絡先

長澤 多代 (NAGASAWA Tayo)

三重大学 高等教育創造開発センター

TEL (059)231-5621 (内線3770)

FAX (059)231-5615(共用)

E-mail nagasawa@hedc.mie-u.ac.jp

三重大学附属図書館 情報リテラシー担当

TEL (059)231-9089 (内線9089)

E-mail literacy@ab.mie-u.ac.jp

31